

- 問1 奈良時代にまとめられた日本最古の和歌集について、その特徴を説明した文として正しいものを選びなさい。（2024年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| 1. 紀貫之らによって編集された、最初の勅撰和歌集である。 | 2. 鎌倉時代に兼好法師によって書かれた、仏教的な無常観を背景とした随筆である。 | 3. 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。 | 4. 清少納言によって書かれた、宮中の様子や四季の情景を綴った随筆である。 |
|-------------------------------|--|--|---------------------------------------|
- 問2 墾田永年私財法の制定は、大化の改新以来の政治の根本原則を大きく変化させることになりました。この法令によって崩れることになった、「土地と人民は国家のものとする」という原則を何といいますか。（2023年 富山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 公地公民 | 3. 門閥打破 | 4. 地租改正 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問3 律令制度の下で作成された戸籍において、重い税負担を免れるために、本来は男子である者を女子として虚偽の申告を行う「偽籍（ぎせき）」が横行しました。当時の税制において、収穫の約3%の稲を納める「租」は男女共通の負担でしたが、男子にのみ課せられ、偽籍の原因となった主な負担の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役 | 2. 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、そして土地を永久に私有できる権利 | 3. 都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして口分田を分け与える班田収授 | 4. 収穫の約3%の稲を納める租、地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸 |
|--|---|---|--|
- 問4 平安時代初期の戸籍資料には、ある地域の男性の割合が全体の1割程度という、極端に不自然な統計が見られます。このような記録が残された理由について、当時の税制度の仕組みから説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2023年 秋田県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 女性には「租・調・庸」のすべてが免除されており、家族全員を女性として登録することで納税を完全に回避できたため。 | 2. 「租」は男女一律に課せられていたが、布や特産品を納める「調」や「庸」の負担が男性にのみ課せられていたため、その負担を逃れようとしたため。 | 3. 男性は「防人」として九州の警備に赴く義務があったため、兵役を逃れるために「租」の負担が重い女性として登録したため。 | 4. 口分田の割り当てが男性の方が女性よりも多かったため、国から支給される土地をあえて減らしてでも、管理を楽にするために女性として登録したため。 |
|--|---|--|--|
- 問5 7世紀後半、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）が、九州北部の太宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、大野城などの山城を築いた理由として、最も適切な背景はどれですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 遣唐使を安全に派遣するための巨大な港湾施設を整備するため | 2. 九州に割拠する豪族たちを武力で制圧し、中央集権化を進めるため | 3. 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、防衛体制を強化するため | 4. 大陸から伝わった仏教の教えに基づき、巨大な寺院を保護するため |
|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|-----------------------------------|
- 問6 律令時代の税制の一つである「調」の仕組みや、当時の社会状況について説明した文として、最も適切なものはどれかを選びなさい。（2022年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地方の特産物を農民が自ら都まで運んで納めるもので、中央政府の財政や都での生活を支えた。 | 2. 口分田の収穫から約3%の稲を納めるもので、主に地方の役所の財源となった。 | 3. 年間60日を限度として地方での土木作業に従事するもので、地方官役所の指示で行われた。 | 4. 成人男性に対して都での労役の代わりに布を納めさせるもので、都の宮殿造営などに充てられた。 |
|--|---|---|---|
- 問7 律令制度のもと、主に東国（現在の関東地方など）から徴用され、九州北部の沿岸を警備する任務についた兵士を何と呼びますか。彼らは白村江の戦いでの敗北後、唐や新羅からの侵攻に備えるために配置されました。（2020年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|-------|-------|-------|
| 1. 検非違使 | 2. 健児 | 3. 衛士 | 4. 防人 |
|---------|-------|-------|-------|
- 問8 奈良時代の聖武天皇が進めた寺院建立の仕組みについて、都と地方の関係性を正しく説明しているものはどれですか。（2021年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 地方の国ごとに守護を配置し、その守護が中心となって都の東大寺を上回る規模の寺院を各地に建てた。 | 2. 各地の有力な豪族が私的に建てた寺院を、聖武天皇がすべて国分寺として公認する制度を整えた。 | 3. 遣隋使や遣唐使として派遣された僧侶たちが、帰国後に自らの出身地に独自の国分寺を建立した。 | 4. 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。 |
|--|---|---|---|
- 問9 万葉集の編纂に深く関わったとされる人物は誰ですか。この人物自身の歌も多く収録されており、また和歌集全体としては、柿本人麻呂が現在の香川県坂出市に立ち寄って詠んだ歌など、全国各地を舞台とした作品が収められています。（2020年 鳥取県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|--------|---------|
| 1. 大伴家持 | 2. 藤原定家 | 3. 紀貫之 | 4. 山上憶良 |
|---------|---------|--------|---------|
- 問10 7世紀後半から九州の筑前国に置かれた大宰府は、その地理的条件からどのような役割を担っていた行政機関ですか。その主な任務について述べたものを選びなさい。（2017年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 江戸時代、西日本の諸大名の監視や長崎貿易の管理を担う役割 | 2. 東北地方の蝦夷（えみし）の帰順や土地の開墾を統括する役割 | 3. 外国との交渉や九州の統治、および対外的な防衛の拠点としての役割 | 4. 鎌倉に幕府が開かれた後、朝廷の動きを監視し西国の裁判を行う役割 |
|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|------------------------------------|
- 問11 奈良時代の743年に出された、新しく開墾した土地について、期限を設けずに永久に自分のものにすることを認めた法令を何といいますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|------------|-----------|---------|
| 1. 班田収授法 | 2. 墾田永年私財法 | 3. 三世一身の法 | 4. 大宝律令 |
|----------|------------|-----------|---------|
- 問12 7世紀後半に起きた壬申の乱を経て、天皇を中心とする中央集権体制の整備が進められました。この過程で、遣唐使が持ち帰った唐の進んだ制度を参考に、701年に刑法や行政法としてまとめられ、律令国家の法的な基盤となったものは何ですか。（2019年 徳島県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-----------|----------|---------|
| 1. 御成敗式目 | 2. 十七条の憲法 | 3. 武家諸法度 | 4. 大宝律令 |
|----------|-----------|----------|---------|
- 問13 8世紀の日本における文化財の調査において、鑑真の肖像彫刻が安置されている唐招提寺が代表的な事例として挙げられています。平城京を中心に展開され、唐の文化や仏教の影響を強く受けた天平文化が栄えたこの時代の名称として正しいものを選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 奈良時代 | 2. 鎌倉時代 | 3. 飛鳥時代 | 4. 平安時代 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 日本の歴史区分において、奈良時代は飛鳥時代と平安時代の間に位置する8世紀の時代を指します。この時期に成立した『日本書紀』の特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。（2018年 広島県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 杉田玄白らがオランダ語の医学書を翻訳して出版した、日本の近代医学の先駆けとなる書物である | 2. 中国の歴史書の形式にならって、神話から持統天皇までの出来事を漢文で記した公式の歴史書である | 3. 後鳥羽上皇の命によって編纂された、日本独自の抒情的な感情を重視する歌集である | 4. 紫式部によって執筆され、当時の宮廷社会における女性の生き方や価値観を描いた物語である |
|---|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 天皇や貴族だけでなく、防人や農民といった幅広い階層の人々の歌が収められている。	万葉集は奈良時代末期に成立したとされる日本最古の和歌集です。約4500首もの歌が収録されており、その作者が天皇や貴族といった有力者だけでなく、九州の警備に当たった防人（さきもり）や東国の人々（東歌）など、身分を問わず多岐にわたっている点が大きな特徴です。当時の人々の素朴な感情や生活が直接的に表現されています。
問2	答え 2 公地公民	律令国家の理想は、すべての土地と人民を天皇（国家）が支配する「公地公民」の原則にありました。しかし、墾田永年私財法によって土地の永代私有が認められたことは、国家が公地をあきらめ、私有地（私地）の存在を公認したことを意味し、律令制が揺らぐ大きな転換点となりました。
問3	答え 1 地方の特産物を納める調、都での労役に代わる布を納める庸、地方での労役である雑徭、そして兵役	律令制における税負担のうち、田地に対して課せられる「租」は男女ともに課せられましたが、それ以外の「調（特産物）」「庸（都での労役の代わりに布）」「雑徭（地方での労役）」「兵役」などは主に男子に対して重く課せられていました。そのため、これらの重負担を避ける目的で、戸籍を書き換えて男子を女子と偽る「偽籍」が増加し、国家の財政や軍事体制に影響を与えました。
問4	答え 2 「租」は男女一律に課せられていたが、布や特産物を納める「調」や「庸」の負担が男性にのみ課せられていたため、その負担を逃れようとしたため。	律令国家の税制において、口分田にかかる「租」は男女ともに課せられていましたが、布を納める「庸」や特産物を納める「調」、さらに年間60日以内の労働に従事する「雑徭（ぞうよう）」などの重い負担は、主に男性にのみ課せられていました。生活を維持するために、男性を女性と偽って戸籍に登録する「偽籍」が横行した結果、記録上の男女比が極端に偏る現象が発生しました。これは当時の民衆にとって、税負担がいかに過酷であったかを示しています。
問5	答え 3 唐や新羅による日本本土への侵攻を警戒し、防衛体制を強化するため	白村江の戦いでの敗北後、大和政権は大陸からの報復的な侵攻を受けることを強く恐れました。そのため、外交の拠点であった太宰府の周囲に、防波堤のような役割を持つ水城や、逃げ込み用の山城を急いで築くことで、国土防衛を固めようとした歴史的背景があります。これは当時の東アジアの緊張感を示す重要な動きです。
問6	答え 1 地方の特産物を農民が自ら都まで運んで納めるもので、中央政府の財政や都での生活を支えた。	調は全国の特産物を中央政府に集約させる税制であり、都に住む貴族の食事や衣服、儀式用の物資などを確保する重要な目的がありました。この特産物を地方から都まで運ぶ費用や道中の食料は、すべて農民自身の負担であったため、都から遠い地域の農民にとっては極めて重い負担となっていました。他の選択肢は、租、庸、雑徭の説明にあたります。
問7	答え 4 防人	白村江の戦い（663年）で唐・新羅の連合軍に敗れた倭（日本）は、対外的な緊張が高まったことから、九州北部の防衛を強化しました。その際に配置されたのが防人です。主に東国の農民が選ばれましたが、現地までの旅費や武器は自己負担であり、さらに3年間の任期中は農業に従事できないなど、民衆にとって極めて重い負担となっていました。
問8	答え 4 都に建立された東大寺を総本山とし、全国の各地方に配置された国分寺・国分尼寺をネットワーク化した。	聖武天皇は中央集権的な国家体制を強化するため、宗教面でも都を頂点とする組織作りを行いました。都の東大寺を中心（総本山）とし、地方の各国に配置された国分寺・国分尼寺がそれに連なる仕組みを整えることで、仏教を通じた国家の統一と安定を図りました。これは、当時の律令国家としての地方統治の仕組みとも深く関わっています。
問9	答え 1 大伴家持	万葉集は長い年月をかけて歌が収集されましたが、最終的なまとめ役として大伴家持が重要な役割を果たしたと考えられています。柿本人麻呂などの宮廷歌人から地方の歌まで幅広く収録されている点が、後の時代の天皇の命令によって編纂された「勅撰和歌集」とは異なる大きな特色です。選択肢の紀貫之は平安時代の『古今和歌集』、藤原定家は鎌倉時代の『新古今和歌集』の編纂者として知られています。
問10	答え 3 外国との交渉や九州の統治、および対外的な防衛の拠点としての役割	大宰府は「遠の朝廷（とおのみかど）」とも呼ばれ、大陸に近い九州北部の要衝に置けました。唐や新羅といった外国からの使節を応接する外交の窓口としての機能と、外国の侵攻に備える防衛の拠点、さらには九州全体の統治という重要な任務を併せ持っていました。東北の蝦夷に対するのは鎮守府、朝廷の監視は六波羅探題などが担った役割であり、これらと混同しないことが重要です。
問11	答え 2 墾田永年私財法	奈良時代、人口の増加によって農民に配る口分田が不足したため、政府は開墾を奨励するためにこの法令を出しました。それまでは「土地は国家のもの」とする公地公民の原則がありましたが、この法令によって土地の永久私有が認められるようになりました。723年に出された、三代に限り私有を認める「三世一身の法」と混同しないよう注意が必要です。
問12	答え 4 大宝律令	天武天皇が壬申の乱に勝利したことで天皇の権威が高まり、その後の文武天皇の時代に唐の律（刑法）と令（行政法）を手本として制定されました。これにより、日本は法に基づく組織的な国家運営を行う「律令国家」としての形を整えました。遣隋使ではなく遣唐使による交流が、この法典の完成に大きな影響を与えています。
問13	答え 1 奈良時代	8世紀に平城京を中心として展開された時代は奈良時代です。この時代には遣唐使を通じて唐の進んだ制度や文化が取り入れられました。特に聖武天皇の時期には、仏教の力を利用して国を治めようとする鎮護国家の思想に基づき、東大寺の大仏造立や国分寺の建立が行われるなど、仏教色の強い天平文化が花開きました。鑑真が建立した唐招提寺はその代表的な建築物の一つです。
問14	答え 2 中国の歴史書の形式にならって、神話から持統天皇までの出来事を漢文で記した公式の歴史書である	奈良時代の日本は、中国（唐）の制度や文化を積極的に取り入れて国家の形を整えていました。『日本書紀』も中国の歴史書の叙述形式を模範としており、国の正史として漢文で記述されています。これは、当時の日本が東アジアの国際社会において自国の文明の高さを示そうとした背景も反映されています。